



広報 いっすき

ホームページアドレス <http://www.vill.itsuki.lg.jp>

2013.9【平成25年】

No. 234



——— 今月号の主な内容 ———

各分館夏祭り	2面
8.17豪雨災害復興記念式典	3面－4面
出来事	5面－6面
お知らせ	7面－8面
保健だより	9面－10面
インフォメーション	11面
トピックス	最終面

あの日の記憶を 後世に

横手公園で開催された8.17豪雨災害復興記念式典での献花の様子。

8.17 豪雨災害 復興 50 周年記念式典

災害の記憶を風化させる
ことなく 後世に伝える

8月17日（土）、午前9時30分から、災害復興記念碑が建つ横手公園で、8.17 豪雨災害復興 50 周年記念式典に伴う、御霊祭並びに安全祈願祭のあと記念植樹があり、午前10時から式典が行われ、関係者約120人が出席しました。

岩本員功実行委員長は、「50 年前の災害の記憶を風化させることなく、これからも防災に関して関心を持ち続け、地域で共に支え助け合いながら、命の大切さを心に刻み、式典の意味を後世に伝えていきたい」と力強くあいさつされました。

その後、和田拓也村長、西村久徳村議会議長のあいさつに続き、献花が行われ、犠牲者の冥福を祈りました。

また、国土交通省 川辺川ダム砂防事務所砂防工事課 谷口真一課長、辻博樹消防団長の防災講演会も行われました。



献花を行う地元児童



岩本員功実行委員長による玉串奉奠



御霊祭・安全祈願祭



献花を行う地元住民の皆さん



地元区長および児童による記念植樹



一緒に安全祈願を行う地元住民の皆さん

記念植樹

復興 50 周年を記念し、三つの願いを込めて、3本の桜の木（ソメイヨシノ）が植樹されました。北地区の希望の象徴として、美しく、逞しく、未来へ咲き誇るよう祈られました。

（1）安心・安全な地域づくりへの願い

安全、火災予防、減災に向けて、家庭における防災教育や、防災への知識を高める努力を怠らない地域づくりを目指します。

（2）支え合い、助け合う地域づくりへの願い

一人住まいや要介護の人、体の不自由な人などへの声の掛け合いによって災害発生の恐れがあるときは早めの避難を呼びかけ、共に支え合う優しい地域となることを目指します。

（3）共に働き、共に食する地域づくりへの願い

美化活動、公園清掃、自主防災活動で地域住民一体となって共に行動し、いちょう祭りや地区の催事等、伝統行事を守り育て、北地区が他の地区の模範となる地域づくりを目指します。

三つの願い

村内各地で夏祭りが開催されました

8/10 東地区納涼ふるさと夏祭り 《復活した子ども神輿》



東分館と交響楽の里推進協議会共催による、「東地区納涼ふるさと夏祭り」が子守唄公園周辺で開催されました。保育園児、小学生児童のみなさん計24名により、頭地代替地内をコースとする子ども神輿が行われました。神輿を担ぐ子どもたちは、暑い中でしたが、大きな声で最後まで頑張りました。また、保育園児、小学生によるヤマメのつかみ取りも実施されました。方からは、スイカ割り、ラムネ早飲み大会、野外上映会、ミニ花火大会が行われ、大いに盛り上がった一日となりました。

8/13 だごひゃご夏祭り 《地域が一体となり賑わう》

北分館主催による「だごひゃご夏祭り」が、宮園体育館前広場で開催されました。盆踊りやスイカ割り、美味しいやまめの塩焼きなどが振る舞われ、もち投げ等もありました。また、五木の友の利用者の皆さんも参加して、一緒に踊りました。福引抽選会では、「新婚」の松坂さん夫妻が、一等の豪華液晶テレビを獲得しました。会場一体は、大変賑やかになりました。



8/14 白滝納涼祭り 《観光客など多くの参加者で盛り上がる》



西分館と溪谷白滝の会共催による「白滝納涼祭り」が、白滝公園で開催されました。「そつめん流し」や「やまめのつかみ取り」などの清流遊びが行われ、午後6時からは、小鶴グラウンドで、かき氷の早食い、スイカ割り、バンド演奏、カラオケ大会、抽選会も行われ、会場は熱気に包まれ、大いに盛り上がりました。帰省客や観光客等、多くの人で賑わいました。また、「五木村研究会」によるカレーも振る舞われました。

五木村「夏休みのびのび子ども教室」を実施しました たくましさを身につけた子どもたち

7月22日（月）から8月30日（金）まで、五木東小学校の1年生から6年生までの25名が参加して、「夏休みのびのび子ども教室」を20回実施しました。今年は、天候に恵まれ計画どおりに実施することができました。創作活動・川遊び・ツリークライミング・料理教室・川辺川上下流こども交流会など、たくさんの体験活動を行いました。

また、「もっとふるさと五木のことを知ろう」と、内容ダム・大滝などにも行きました。たくさんの人にご協力いただき、いろいろな体験ができ、子どもたちもすいぶんたくましくなったようです。



大滝探索



八代海を眼下に！



食改の皆さんと料理教室



牛乳パックでトンボ作り



七夕に願いをこめ



川あそび（川辺川・宮園）

緑の少年団交流集会 県内の小学校136人が参加

緑を愛し、守り育てることを目的として、野外活動等を通して心豊かな社会人の育成を図るため、8月2（金）に、池の鶴多目的広場で「全県緑の少年団交流集会」が開催されました。県下の緑の少年団員（小学4年生以上）136人が参加しました。深水教育長の歓迎のあいさつのあと、9班に分かれて、ネイチャーゲーム、木工、ツリークライミングを体験し、午後からは、川遊びを行いました。五木村の大自然の中で、貴重な体験ができた一日となりました。

また、東小学校からも13人が参加しました。主催は、熊本県緑化推進委員会。協力は、役場、林業研究クラブ等。



川辺川の林間学校 in 宮園 五木の大自然をまるごと楽しむ

7月27日（土）～28日（日）の2日間にかけて、宮園交流館で「五木を体験！川辺川の林間学校in宮園」が開催されました。県内外から9組24人の親子が参加。初日は、午前11時から開校式があり、藤本新一会長の歓迎の挨拶のあと、語り部部会の山下照公会長による宮園の昔話が披露されました。

そうめん流しで昼食を取ったあと、宮園体育館で、ツリークライミングを体験。その後、梶原川にて大タイヤを利用した川下りを体験し、夕食後はくまモン、いつきちゃんとキャンプファイヤーを楽しみました。

翌日は、くまモン体操、宮園地域散策、うどん打ち体験が行われ、有意義な2日間を過ごしました。



8.17 豪雨災害

50年前の昭和38年8月17日に発生した集中豪雨は、死者10人、行方不明者1人、住家の流出・全壊144戸、半壊45戸、床上床下浸水155戸、被害額は、約32億円という大被害をもたらしました。

特に横手谷で発生した山津波は最も大きく、鶴地区では尊い人命が一瞬にして奪われ、貴重な住家・山林・田畑を消し去りました。

随所に山津波を起こした濁流は道路も決壊させ、五木の主要路線の大半は通行不能となり、食糧その他物資の運搬は自衛隊のヘリコプターによるか、警察や消防団などにより急造された山道を使用せざるを得ませんでした。五木村は、この年から昭和40年まで3年連続の災害に襲われ、これを契機に昭和41年7月に下流域の保護を目的として、当時の建設省から川辺川ダム建設計画が発表されることになりました。



横手の山津波

※3年連続災害：五木村の連続災害は昭和38年1月に1ヵ月以上にわたって連日降り続いた豪雪に始まり同年8月の大水害、続いて昭和39年8月の14号台風、重ねて昭和40年7・8月の水害に続く15号台風と、連続の災害に見舞われてその被害額は実に45億円に達しました。



旧五木北小学校（宮園地区）避難者が作った「SOS」の人工字が見て取れる



西谷・下平野・宮園地区



横手地区



西谷地区

10月の診療所担当医師予定表

電話 37-2008 IP 2008

※都合により、担当医師が変更となる場合もあります。ご了承ください。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		(総合診療科) 中山		(総合診療科) 稲田	(総合診療科) 中山	
6	7	8	9	10	11	12
	循環器内科	(総合診療科) 中山		(総合診療科) 稲田	(代謝内分泌内科) 野田	
13	14	15	16	17	18	19
	体育の日	(総合診療科) 中山		(総合診療科) 稲田	(血液内科) 樫田	
20	21	22	23	24	25	26
	循環器内科	(総合診療科) 中山		(総合診療科) 稲田	(代謝内分泌内科) 野田	
27	28	29	30	31		
	循環器内科	(総合診療科) 中山		(総合診療科) 稲田		

※膝の注射は火曜日にお願いします。

人吉総合病院予約センター 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

【初診時】 電話 22-1900 【再来時】 電話 22-7878 【夜間救急】 電話 22-2191

国民健康保険加入の皆さんへ

国民健康保険の加入・脱退の際は、届け出が必要です！

国民健康保険を加入・脱退する事由が生じたときは、14日以内の届け出が必要となります。届け出が適正になされないと、二重保険で保険税を二重に納めたり、無保険で医療費を全額負担しなければならなかったりと大変なことになります。

= こんな時は必ず届け出をしましょう =

◆国保に加入するとき

加入事由	必要なもの
他の市町村から転入したとき（職場の健康保険などに加入していない人）	転出証明書
職場の健康保険などをやめたとき	健康保険などの離脱証明書
子どもが生まれたとき	被保険者証 母子手帳
生活保護を受けなくなったとき	保護廃止決定通知書

◆国保を脱退するとき

脱退事由	必要なもの
他の市町村に転出したとき	国保の被保険者証
職場の健康保険などに加入したとき（子どもが学校を卒業・退学したときや就職したときも手続きが必要です）	国保と健保など両方の被保険者証
死亡したとき	保険証・死亡を証明するもの
生活保護を受けるようになったとき	被保険者証・保護開始決定通知書

届け出は14日以内に、役場保健福祉課の窓口までお願いします。

役場保健福祉課 電話 37-2214 IP電話 2214

コバサク（焼き畑）体験

山と共に生きる人びとの伝統の暮らし

五木村観光協会では、昨年度から、山と共に生きる人びとの暮らしに学ぶ「コバサク焼き畑再生プロジェクト」に取り組んでいます。

8月17日（土）に元井谷で、焼き畑の火入れを行いました。

翌18日（日）には、その場所にそばの種を蒔きました。

参加者たちは、猛暑と焼き畑の炎の熱さで、たくさん汗を流していました。

11月17日（土）に収穫体験、翌18日（日）に、そば挽き、そば打ち体験が予定されています。



五木村感謝祭

多彩なイベントと地元食材でおもてなし

8月3日（土）、絶好の夏日和のもと、池の鶴多目的広場に於て、五木村ファンクラブ会員の方を対象に、感謝祭が開催されました。

参加した子どもたちは、水鉄砲やツリークライミング、川遊びなどを体験。

昼食は、地元食材のバーベキューが振る舞われました。



MTB & トレイルランニング in 五木

アウトドア王国 端海野で熱いレースを展開

端海野自然森林公園で、都市初となるトレイルランニング大会が17日（土）に、翌18日（日）は、恒例のMTB（マウンテンバイク）大会が開かれ、県内外から集まった延べ113人の参加者たちが起伏の激しい難コースに挑みました。

主催は、九州内の愛好者のみなさん。標高1,000mの端海野公園内は夏場でも涼しく、遊歩道など多彩なコースが設定できるということから、今回初めてトレイルランニング大会が企画されました。

木下丈二副村長の歓迎のあいさつのあと、午後1時から女子をはじめにスタートし、森の中の遊歩道を組み合わせた周回約10km、高低差約200mの山道を60人のランナーたちは、給水パックを背負って駆け上がっていました。

MTB大会には、53人が出場。どの参加者も汗だくになり、さすがに疲れきった表情でゴールイン。仲間たちと互いの健闘をたたえあっていました。





9月の保健だより

(1) げんぞう会（介護予防教室）のお知らせです。

火 曜 日				木 曜 日			
受付 9:30 開始 10:00		受付 13:30 開始 14:00		受付 9:30 開始 10:00		受付 13:30 開始 14:00	
三浦	9月 3日	下梶原	9月 3日	頭地	9月12日	瀬目	9月12日
	9月17日		9月17日				
宮園	9月10日	平沢津	9月10日	小鶴	9月 5日	平瀬	9月 5日
	※9月24日は12月に変更します		※9月24日は12月に変更します		9月19日		9月19日

げんぞう会や健康に関するご相談がある方は、保健福祉課までご連絡ください。

(電話 37-2214 IP電話 2214)



(2) 乳幼児健診のお知らせ

期 日	受付時間	場 所	備 考
9月 6日(金)	13時～ 13時30分	保健センター	3・6・10ヵ月、1歳2ヵ月、 1歳6ヵ月、3・4・5歳児対象
10月 4日(金)	13時～ 13時30分	保健センター	3・6・10ヵ月、1歳2ヵ月、 1歳6ヵ月、3・4・5歳児対象

(3) こころの健康相談のお知らせ

熊本県人吉保健所メンタル相談

(専門の医師が相談を受けます。)

予約制なので、保健所担当まで連絡ください。

① 9月12日(木)14時～

場 所：人吉保健所 1階

② 9月27日(金)14時～

場 所：多良木町保健センター

*予約先：人吉保健所保健予防課

(☎22-3107)



高齢者のうつ病と認知症



う つ 病	認知症の初期
活気がなく、引きこもりがち	
物事に興味を示さない	
もの忘れがある	
・急に始まる	・徐々に現れる
・自分でも気付く	・自分では気づかない
・苦痛を感じる	・取りつくろう

秋の全国交通安全運動のお知らせ

広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルール遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的に全国交通安全運動が実施されます。

村民の皆様も交通安全運動に、ご協力をお願いいたします。

実施期間

- ① 9月21日(土)～9月30日(月)までの10日間
- ② 交通事故死ゼロを目指す日 9月30日(月)

運動の推進項目

- 運動の基本
子どもと高齢者の交通事故防止
- 運動の重点
 1. 夕暮れと夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止(特に、反射材用品等の着用)の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底
 2. 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 3. 飲酒運転の根絶

「救急フェア2013」の開催について

本年度も、9月9日「救急」の日にちなみ地域住民に対し、救急業務への正しい理解と認識を深めるため、人吉医師会との共催により19回目となる「救急フェア2013」を開催いたします。

幼児から大人まで、楽しみながら救急や火災について認識を深めていただけるような様々な企画をしておりますので、皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成25年9月8日(日)

開場 12時30分

開会 13時00分(閉会16時00分)

場所：人吉下球磨消防組合消防本部・中央消防署
(人吉市下林町1番地)

主催：人吉市医師会・人吉下球磨消防組合

いつきちゃんも
登場予定!



【主な催し】

医師による講演、和太鼓(中学児童クラブ)、ひょっとこおどり愛好会によるショー、お楽しみ抽選会、体験コーナー(はしご車試乗・ロープ渡り・煙体験・放水)、車両展示、かき氷(無料)、ジュース販売、健康相談、応急手当実技体験、乳幼児と小児の応急手当実技体験、パネル・ポスター・習字展示、住宅防火対策の展示、説明



自然が奏でる子守唄の里 五木村
 五木村役場
 〒868-0201 熊本県球磨郡五木村甲267-2-7
 TEL: 0966-37-2211 FAX: 0966-37-2215
 ホームページアドレス http://www.vill.itsuki.lg.jp

Topics

勝利へ向けて
がんばれロアッソ！

＝ 絆エンブレムに闘魂注入！ ＝

サッカーJ2 ロアッソ熊本のサポーターが勝利を願ってタッチする、台座付きの像「絆エンブレム・モノリス」をロアッソ事務局の方が役場に持参され、木下丈二副村長が、熊日のキャラクター「ぷれすけ」とともに、ロアッソの勝利を祈願してエンブレムにタッチし、熱き闘魂を注入しました。がんばれ！ロアッソ！！



熊日のキャラクター「ぷれすけ」と「いつきちゃん」とで絆エンブレムにタッチする木下丈二副村長

Topics

国道を彩る七夕飾り

本年度も、国道445号沿いや道の駅周辺には、役場OB会により、たくさん七夕飾りが飾られ、国道を通る人の目を和ませてくれています。



Topics

梶原太鼓踊り保存会 = 地区の垣根を越え伝統受け継ぐ =

梶原太鼓の踊り手は男性に限られ、1軒から最低1人を出すことになっていました。しかし約20軒あった集落は8軒に減少し、踊り手も5人だけとなり、例年11月に開催される五木の子守唄祭への参加も約20年前から不参加となっていました。

そこで五木村中央公民館、三浦分館、保存会は、地区の垣根を越えて担い手を募集したところ、村内の男女7名が集まりました。

参加者は、毎週水曜日に三浦地区集会所で保存会の指導により2時間の練習に励んでいます。

地区の伝統芸能を受け継いでいく熱い心が伝わってきます。



氏神をまつる白木神社に奉納する
梶原太鼓踊り保存会のみなさん

行事予定

9月

11日(水) 献血
 12日(木) 人権相談
 16日(月) 敬老式典
 20日(金) 行政相談
 30日(金) 区長会

八月に開催された各地区の夏祭りは、天候に恵まれ、大いに盛り上がりました。
 暦のうえでは処暑を過ぎました。猛烈な暑さも少しずつ和らいでいきますが、日中は、まだ暑い日が続きます。体調管理に気を付けていきましょう。



人の動き(7月末現在)

人口・・・1,254人
 世帯数・・・524世帯

	転入	転出	出生	死亡
男	0	0	0	1
女	0	0	1	0
計	0	0	1	1

戸籍の窓口

※7月20日～8月19日届出分

【出生】おめでとぅございます。
 7月12日 竹村 茉莉(たけむら まり)
 (父) 文秀 (母) 愛 (平野・西谷)
 【おくやみ】
 7月21日 白石 満春(79才) 出る羽
 (敬称略)

